

東京農業大学 総合研究所研究会「稲・コメ・ごはん部会」講演会

稲作・こめの果たす社会的役割

日時：2025年3月27日（木）16時00分～18時00分（受付15:40）
場所：国際センター2階 榎本ホール
主催：東京農業大学 総合研究所研究会「稲・コメ・ごはん部会」
共催：東京農業大学 こめプロジェクト研究

農福連携の始め方、続け方

合同会社十色 代表 サカール祥子 氏

東京農業大学大学院造園学専攻修士課程修了。大学卒業後は障害者福祉施設に就職。国際結婚、出産を経て障害の有無や性別、年齢、国籍などに関わらずさまざまな人が活躍できる場を作りたい」という思いから、前職の障害福祉事業を行うNPO法人で知り合った女性2人と2021年3月に合同会社十色を設立。「畑はエンターテインメント」をテーマに田んぼでの体験イベントや「さいたまを激辛の聖地に！」をキャッチコピーとし世界各国の唐辛子の品種を栽培。
2021年埼玉スマイルウーマンピッチ審査員特別賞受賞 令和6年度農山漁村女性活躍表彰 若手女性チャレンジ部門優良賞受賞

非常食の市場動向

アルファー食品株式会社 東京支店営業部 課長代理 内田将史 氏

アルファー食品株式会社は、“お米の防災用非常食”など便利で美味しいお米の商品を製造している食品メーカーである。阪神淡路大震災から非常食市場では、大きく変化し続けてきた数々のイノベーションが社会課題の解消につながっていく。いつ起きてもおかしくない災害に、どう対峙するのか。災害時の「食」についての講演。

赤い米と神まつり

総社赤米大使（岡山県総社市）/國學院大學大学院 文学研究科 博士前期課程文学専攻 在籍/歌手 相川七瀬 氏

長崎県対馬市、鹿児島県南種子町、岡山県総社市には、何千年も神事米として伝わる赤米がある。しかし、後継者不足から、赤米耕作も含めて神事継承が危ぶまれている。相川七瀬は、10年以上にわたって3地域に入り、伝統文化継承支援の一翼を担っている。現在、國學院大學大学院で民俗学の視点から「新しい時代の祭りと組織」を研究している。

情報交換会 ※お申込みは、事前申し込み先着70名様まで受付いたします。

開催日時：3月27日（木）18:00～19:30

会費※：3,000円(税込)※お支払いは現金のみでお願いします。

一般社団法人のと島クラシカタ研究所 代表理事 福嶋葉子氏 特製の能登創作おにぎりのご用意があります。
その他、おつまみ、農大日本酒などのご用意があります

主催：こめプロジェクト研究、共催：総合研究所研究会「稲・コメ・ごはん部会」 場所：国際センターレストランススペース（1F）

こめプロジェクト研究スピンオフ企画
「お米を超えてけ！」新しいお米の食べ方コンテスト
白米部門賞“お米のジェラート”のご試食のご用意があります

発表会参加費
無料
情報交換会
会費3,000円

参加方法：事前申し込み制

<https://forms.office.com/r/mEfyBYNGMG>

申込期間：3月14日(金)17時まで

QRコードから
お申込み出来ます

